

令和元年度

業 務 年 報

広島県立総合技術研究所
西部工業技術センター

目 次

1	事業概要	1
2	事業実施体制	3
	(1) 組 織	
	(2) 土地・建物の現況	
	(3) 職 員	
	(4) 予算執行状況	
3	研究開発事業	7
	(1) 研究開発	
4	技術支援事業	11
	(1) 技術相談・指導	
	(2) 依頼試験	
	(3) 設備利用	
	(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）	
5	技術移転事業	22
	(1) 保有技術紹介セミナー	
	(2) 研究成果の公表	
	(3) 工業所有権	
	(4) 広報活動	
6	人材育成事業	29
	(1) 技術者研修	
	(2) 企業等研究員受入制度	
7	産学官交流事業	31
	(1) 研究会活動	
	(2) 他機関との連携・支援	
8	その他	34
	(1) 職員研修	
	(2) 受賞等	
付	録	36
	(1) 令和元年度の主な行事等	
	(2) 沿 革	
	(3) 令和2年度の職員	
	(4) 広島県立総合技術研究所の組織	

1 事業概要

西部工業技術センターをはじめ、県内 8 センターが所属する広島県立総合技術研究所は、保健環境から工業、農林水産業まで非常に幅広い領域の技術を保有しています。その特徴を活かして、異分野や業際領域の産業が参集・協力し、県民や県内産業が新しい分野・領域にアプローチできる貢献度の高いスリムで効率的な試験研究機関を目指しています。

西部工業技術センターは、工業系の試験研究機関として、県内企業のニーズに応える研究開発と、その成果の移転促進、また、企業の課題解決に向けた技術指導、技術的課題解決支援事業、受託研究、人材育成のための技術者研修などにより、質の高い企業貢献ができるよう取り組んでいます。

(研究開発と成果移転)

産業技術の高度化や新規成長分野に対応する研究開発を進めるため、企業と連携して出口を見据えた研究開発に積極的に取り組みました。また、大学・企業と連携し、競争的研究資金の獲得による研究開発を進めました。

研究開発した成果はホームページへの掲載、企業訪問や保有技術紹介セミナー等による紹介をはじめ、報道機関を通じた情報発信に努め、研究成果の県内企業移転への取り組みを行いました。

(技術支援と人材育成)

技術指導や依頼試験、設備利用、さらに技術的課題解決支援事業、受託研究などにより、企業からの要望に応えた積極的な技術支援への取り組みを行いました。

また、急激に進む技術革新、国内外との厳しい競争などへの対応のためには、優れた研究者・技術者の養成が必要であり、こうした人材育成に向け、業界ニーズに基づく技術者研修を計画・実施しました。

○ 研究開発事業

- ・ 企業のニーズに応え、産業技術の高度化や新規成長分野への対応を図るため、課題解決研究の一般型では、測定計測技術分野 1 課題を実施しました。
- ・ また、個別企業のニーズに対応する課題解決研究の共同研究型では、材料製造プロセス、精密加工、デザイン開発、測定計測の各技術分野 1 課題ずつ計 4 課題を実施しました。
- ・ 競争的外部資金等による研究開発 9 課題、企業や大学等との共同研究 11 課題、企業等からの依頼に基づく受託研究 13 課題を実施しました。
- ・ これらの研究成果は、保有技術紹介セミナー等で紹介するとともに、研究報告やホームページへの掲載、また、人材育成事業や研究会活動、技術相談・指導等によって、県内企業への移転・普及を図ります。

○ 技術支援事業

- ・ 企業への新技術の導入や技術力向上等を図るための技術相談・指導は、所内 4,282 件、現地等所外で 47 件実施しました。
- ・ 企業からの依頼で試験、分析、測定等を行う依頼試験は、1,082 件でした。
- ・ 企業の新製品や新技術開発等を支援するため、試験、加工、分析装置などの設備機器を開放し、4,969 件の利用がありました。
- ・ 企業の技術課題の解決策を検討する技術的課題解決支援事業（ギカジ）は、66 件実施しました。

○ 技術移転事業

- ・ センターの技術や設備機器の利活用促進のため、保有技術紹介セミナーを行いました。
- ・ 研究開発した成果を保護、活用するため、7 件の国内特許を出願しました。
- ・ 研究成果の普及を図るため、展示会等への出展を行うとともに、研究報告（第 62 号）を 140 機関に送付し、ホームページに成果概要（事業概要）を掲載しました。

○ 人材育成事業

- ・ 技術者研修として、次の 3 コースを実施しました。
 - ① めっき技術者研修（20 名）
 - ② 3D 形状計測研修（13 名）
 - ③ VR/AR 研修（11 名）

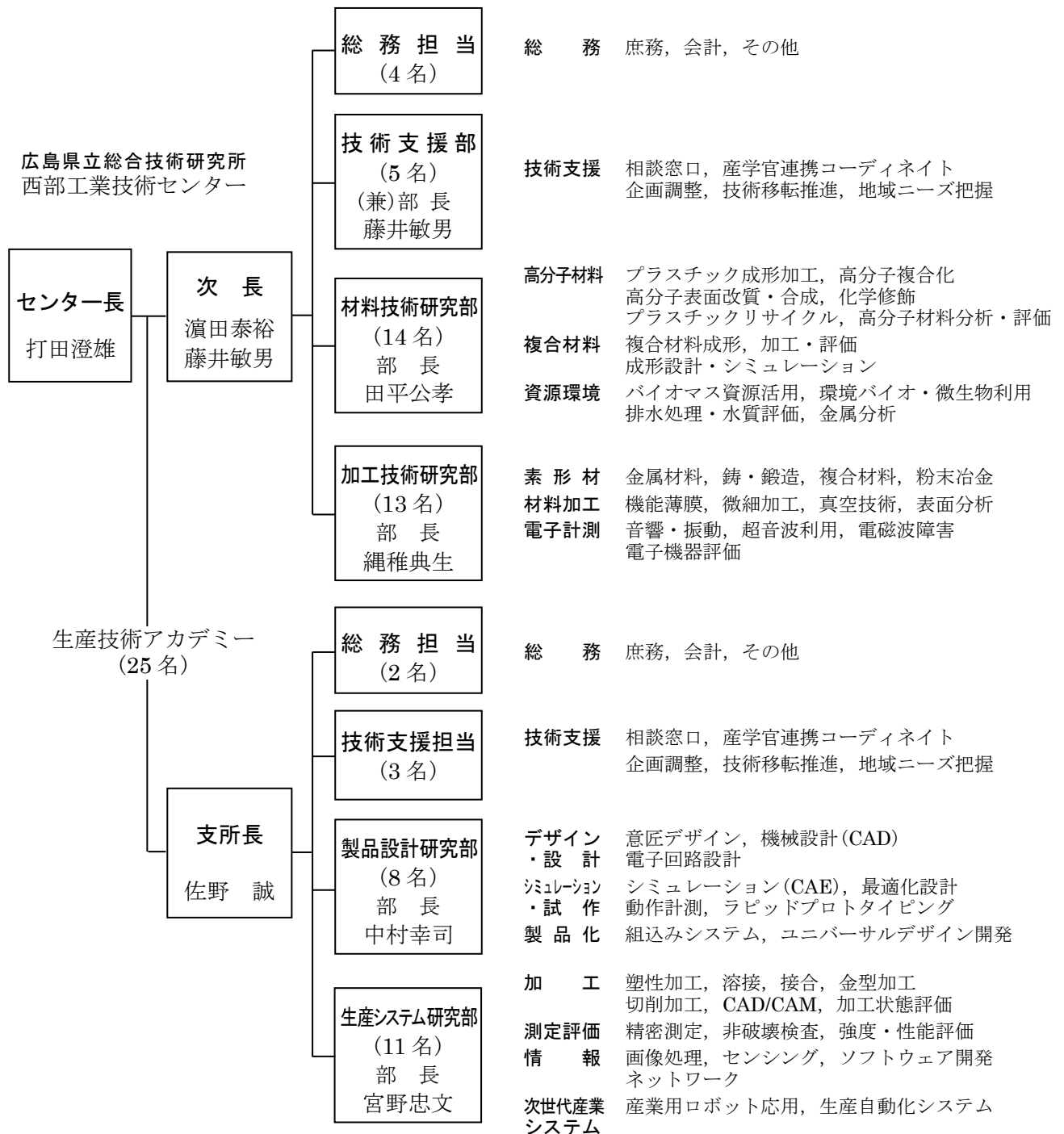
○ 産学官交流事業

- ・ 研究会活動として、広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会を 2 回（共催分含む）開催しました。

2 事業実施体制

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

(1) 組織



人員 63 名 (内, エルダースタッフ 7 名)

(2) 土地・建物の現況

(本所)敷地：18,457.94 m² 建物：10,457.75 m²

名称	構造	年月日	建築面積(m ²)	延面積(m ²)
本館 (ポンプ室含む)	鉄筋コンクリート造り4階	H5.4.1	2,316.00	7,068.92
第一実験棟 (渡り廊下含む)	鉄筋コンクリート造り2階	〃	726.05	1,353.20
第二実験棟	鉄筋コンクリート造り2階	〃	949.05	1,925.25
音響棟	鉄筋コンクリート造り平屋建て	〃	110.52	110.38

(生産技術アカデミー)

名称	場所	年月日	室面積(m ²)
生産技術アカデミー (実験棟含む)	(株)広島テクノプラザ内	H13.4.1	2,320.73

(3) 職員

① 現員の状況

(平成31年4月1日現在)

区分	センター長	次長	支所長	部長	担当部長	副部長	主任研究員	研究員	主幹	事業調整員	主任	主事	計
現員	1	2	1	4	3	5	22	18	1	2	3	1	63
本所		1	2										3
	総務担当								1	1	1	1	4
	技術支援部				(1)	1	1	2					4
	材料技術研究部				1		2	5	6				14
	加工技術研究部				1		1	6	5				13
生産技術アカデミー			1										1
	総務担当									1	1		2
	技術支援担当					1	1				1		3
	製品設計研究部				1		1	5	1				8
	生産システム研究部				1	1	1	4	4				11

()内は兼務

② 職 員

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	打 田 澄 雄
	次 長	濱 田 泰 裕
	次 長	藤 井 敏 男
総務担当	主 幹	高 間 義 喜
	事 業 調 整 員	正 尺 弘 樹
	研 究 員 (エルダースタッフ)	掲 野 史 也
	主 事	伊 永 有 希
技術支援部	(兼)部 長	藤 井 敏 男
	担当部長(営業担当)	舟 木 敬 二
	主 任 研 究 員	松 下 修 司
	研 究 員 (エルダースタッフ)	田 尾 博 幸
	研 究 員 (エルダースタッフ)	下 原 伊 智 朗
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	副 部 長	松 永 尚 徳
	副 部 長	小 島 洋 治
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	宗 綱 洋 人
	主 任 研 究 員	武 田 正 良
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	花ヶ崎 裕 洋
	研 究 員	杉 原 正 洋
	研 究 員	西 田 裕 紀
	研 究 員	末 村 紘 志
	研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員 (エルダースタッフ)	大 橋 俊 彦
加工技術研究部	部 長	縄 稚 典 生
	副 部 長	府 山 伸 行
	主 任 研 究 員	長 谷 川 浩 治
	主 任 研 究 員	本 多 正 英
	主 任 研 究 員	伊 藤 幸 一
	主 任 研 究 員	問 山 清 和
	主 任 研 究 員	大 川 正 巳
	主 任 研 究 員	森 下 勇 樹
	研 究 員	井 鷲 洋 介
	研 究 員	長 岡 孝 介
	研 究 員	石 本 洋 介
	研 究 員	藤 本 直 也
	研 究 員 (エルダースタッフ)	筒 本 隆 博

(生産技術アカデミー)

所属	職 名	氏 名	
	支 所 長	佐 野 誠	
総務担当	事 業 調 整 員	五 閑 彩	
	主 任 (エルダースタッフ)	西 村 聡	
技術支援担当	担当部長(営業担当)	水 成 重 順	
	主 任 研 究 員	友 國 慶 子	
	主 任 (エルダースタッフ)	池 田 好 伸	
製品設計研究部	部 長	中 村 幸 司	
	副 部 長	安 部 重 毅	
	主 任 研 究 員	佐々木 憲 吾	
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司	
	主 任 研 究 員	橋 本 晃 司	
	主 任 研 究 員	横 山 詔 常	
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔	
	研 究 員	後 藤 孝 文	
	生産システム研究部	部 長	宮 野 忠 文
		担 当 部 長	西 川 隆 敏
副 部 長		門 格 史	
主 任 研 究 員		前 田 圭 治	
主 任 研 究 員		村 河 亮 利	
主 任 研 究 員		大 石 郁	
主 任 研 究 員		岡 野 仁	
研 究 員		小 玉 龍	
研 究 員		藤 井 宏	
研 究 員		姫 宮 一 輝	
研 究 員	久 保 田 将 矢		

人員 63 名 (内, エルダースタッフ 7 名)

(4) 予算執行状況

① 歳入

(単位：千円)

科 目	平成 30 年度	令和元年度
使用料及び手数料	25,102 (27,679)	26,384 (28,951)
使 用 料	12,880 (15,458)	17,051 (19,331)
手 数 料	12,222	9,333 (9,620)
諸 収 入	29,500	53,372
受託事業収入 試験研究受託金	22,250	45,303
受託事業収入 技術的課題解決支援事業受託金	5,704	6,963
雑 入 弁 償 金	352	7
雑 入 雑 収 入	1,194	1,100
財 産 収 入	0	0
物 品 売 払 収 入	0	0
合 計	54,601 (57,179)	79,757 (82,324)

注) ・()内は、ひろしま産学共同研究拠点の使用料・手数料を含む。

・金額は表示単位未満四捨五入のため、合計金額と一致しないことがある。

② 歳出

(単位：千円)

科 目	平成 30 年度	令和元年度
総 務 費 企 画 費 研 究 開 発 費	145,928	209,229

3 研究開発事業

(1) 研究開発

課題解決研究の一般型は、測定計測技術分野 1 課題、共同研究型は、材料製造プロセス技術分野、精密加工技術分野、デザイン開発技術分野、測定計測技術分野各 1 課題の計 4 課題を実施しました。

また、競争的外部資金等による研究を 9 課題、企業や大学等との共同研究 11 課題、企業等からの依頼に基づく受託研究を 13 課題実施しました。

① 課題解決研究（一般型）（1 課題）

技術分野	研究課題	研究概要	期間	担当部
測定計測	熟練検査技能を実現する高精度外観検査技術の開発	熟練検査技能を参考にして、動的画像の撮像と画像処理により、従来行われてきた静止画像の活用では困難であった外観検査の自動化技術を開発します。	H31	生産システム研究部 製品設計研究部

② 課題解決研究（共同研究型）（4 課題）

技術分野	研究課題	期間	担当部
材料製造プロセス	高速かつ均等に加熱冷却可能な 3D 造形 CFRTP 用プレス金型の開発	H31	材料技術研究部 加工技術研究部
精密加工	自由曲面に対応可能なメタルシートやすりに関する研究	H31	加工技術研究部
デザイン開発	床材の感性価値の解明	H31	製品設計研究部 加工技術研究部
測定計測	プラスチック成形品の検査品質向上のための技術開発	H31	製品設計研究部 生産システム研究部

③ 共同研究（競争的外部資金等研究）（9 課題）

事業名	研究課題	研究概要	期間	担当部
戦略的基盤 技術高度化 支援事業	大型で積層構成 自由度の高い CFRTP 一方向 連続繊維積層板 の量産技術開発	炭素繊維強化熱可塑性樹脂（CFRTP）の中でも炭素繊維の特徴を最大限活かすことができる一方向連続繊維を適用し、自在な配向で積層・一体化した大型で樹脂含浸性や繊維直線性に優れる積層板の量産技術と、その積層板に適したプレス成形技術を開発します。	H29 ～R1	材料技術 研究部
	X線源の小型化 を可能とするセラ ミックスのメ タライジング技 術の高度化	各産業分野における検査ライン自動化の進展に伴い、X線非破壊検査装置の需要が増加しています。この装置への相反するニーズ、小型化及び高出力（高電圧）によるX線透過力向上の実現に向け、セラミックスと金属を高気密に接合したX線管の電気的特性を大幅に改善しつつ、その小型化を実現します。	H30 ～R2	加工技術 研究部
	自動車用シート 構造部材の軽量 化と高生産性を 実現する新レー ザー溶接システ ムの研究開発	レーザー溶接法は高速で連続の線溶接が可能で溶接部の照射条件を微細にデジタル制御できますが、薄板鋼板への適用には板間隙を厳しく制御しなければ溶接が難しく、付帯設備や工程が複雑になります。そこで、既開発の板間隙の有無に拘わらず線溶接可能な新レーザー溶接法をシート構造部材に応用し、軽量化を図るとともに溶接工程の自動化と溶接時間の半減を実現します。	R1 ～R3	生産システ ム研究部 加工技術 研究部
	深部加熱が可能 で抜群の省エネ ルギー化を実現 する革新的な磁 気加熱式による アルミ押出加工 用アルミビレッ ト加熱装置の実 用化開発	アルミ押出加工用アルミビレット加熱装置として一般的な高周波誘導加熱式は、エネルギー効率及び生産性が低い。そこで、超電導コイルを用いた直流強磁場中でアルミビレットを低速回転させ、高効率、高速及び均一加熱を実現する磁気加熱式加熱装置を開発し、アルミ押出加工品の生産性大幅向上と低コスト化を実現します。	R1 ～R3	加工技術 研究部
革新的 新構造材料等 技術開発事業	アルミニウム /CFRP 点接合 の時間短縮	アルミニウムや鋼板、CFRP など異種材料部材について、車体組立ラインへの適合性の高い接合技術が求められています。そこで、アルミニウム/CFRP の点接合において、安定的に高い接合強度が得られるとともに、短時間で接合できる加工技術を開発します。	H30 ～R1	加工技術 研究部 生産システ ム研究部

事業名	研究課題	研究概要	期間	担当部
JST研究成果 展開事業 A-STEP 機能検証 フェーズ 試験研究 タイプ	Tm レーザによる異種透明樹脂部品の高強度・高速接合技術の開発	Tm レーザによる、種々の透明プラスチック樹脂円筒管継手の最適な接合方法を探索します。	H30 ~R1	生産システム研究部 材料技術研究部
	靴構造の変化に伴う歩き心地予測技術の開発	靴の構造の歩き心地や歩容への影響について、自主開発したセンサシューズ (IoT 化した靴) を用いて検証し、その関係性をモデル化することで、歩き心地が向上する個人対応の靴を提供できるシステムを開発します。	H30 ~R1	製品設計研究部
	歩行センシングによる高齢者の健康的魅力度の評価技術	歩行センシング技術を用いて、健康的魅力度に関する評価構造を解明し、歩行の印象値と靴から得られる歩行情報とを関連付けることで歩行の健康的魅力度を推定・評価する手法を開発します。	R1 ~R2	製品設計研究部 生産システム研究部
公益財団法人 天田財団 平成29年度助成	汎用ツールによる金型レスの逐次曲げ成形技術の開発	汎用工具で張出し等の局所加工を行いつつ加工部位を移動して、金型レスで多様な複雑形状の板金成形ができる逐次成形法に着目し、従前の張出し加工の代わりに、曲げ加工を局所的に行いながら加工部分を移動し板金成形する方法を開発します。	H29 ~R1	製品設計研究部

④ 共同研究（11 課題）

（共同研究先別課題数）

共同研究先	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
企 業 等	2 (1) ^{※1}	1	5 (1) ^{※2}	3 (2) ^{※1,2}	9	81.8
大 学 等			1		1	9.1
協 会 等 団 体			1		1	9.1
合 計	2 (1) ^{※1}	1	7 (1) ^{※2}	3 (2) ^{※1,2}	11	100.0

※1 材料技術研究部と生産システム研究部の共同担当

※2 製品設計研究部と生産システム研究部の共同担当

⑤ 受託研究（13 課題）

（委託業種別課題数）

業種 No.	委託者の業種	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
17	電 気 機 械 器 具 製 造 業			2 (1) ^{※1}	1 (1) ^{※1}	2	15.4
19	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業		2			2	15.4
30	そ の 他	3	3	3 (1) ^{※1}	1 (1) ^{※1}	9	69.2
	合 計	3	5	5 (2) ^{※1}	2 (2) ^{※1}	13	100.0

※1 製品設計研究部と生産システム研究部の共同担当

4 技術支援事業

(1) 技術相談・指導

① 業種別件数

業種 No.	業 種	所内指導				現地指導			
		平成 30 年度		令和元年度		平成 30 年度		令和元年度	
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	食 料 品 製 造 業	11	0.3	62	1.4	2	0.6	1	2.1
2	繊 維 工 業	48	1.4	67	1.6	10	3.1		—
3	木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	32	0.9	47	1.1	7	2.2		—
4	家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	4	0.1	30	0.7		—		—
5	パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 製 造 業	1	0.0	8	0.2		—		—
6	印 刷 ・ 同 関 連 業	14	0.4	79	1.8		—		—
7	化 学 工 業	72	2.1	125	2.9	18	5.6	2	4.3
8	石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品 製 造 業	10	0.3	9	0.2		—		—
9	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	366	10.7	613	14.3	19	5.9		—
10	ゴ ム 製 品 製 造 業	40	1.2	51	1.2	10	3.1		—
11	窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	16	0.5	100	2.3		—		—
12	鉄 鋼 業	54	1.6	69	1.6	2	0.6		—
13	非 鉄 金 属 製 造 業	128	3.8	142	3.3	3	0.9	4	8.5
14	金 属 製 品 製 造 業	398	11.7	423	9.9	14	4.3	6	12.8
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	594	17.4	1,110	25.9	42	13.0	8	17.0
16	電子部品・デバイス・電子回路製造業	22	0.6	60	1.4	1	0.3		—
17	電気機械器具製造業	235	6.9	176	4.1	5	1.6		—
18	情報通信機械器具製造業	27	0.8	10	0.2	7	2.2		—
19	輸送用機械器具製造業	692	20.3	406	9.5	18	5.6	13	27.7
20	そ の 他 の 製 造 業	84	2.5	57	1.3	23	7.1		—
21	農 業 ， 林 業 ， 漁 業	6	0.2	10	0.2	12	3.7		—
22	鉱業，砕石業，砂利採取業	8	0.2	23	0.5		—		—
23	建 設 業	18	0.5	45	1.1		—		—
24	電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.0		—	1	0.3		—
25	情 報 通 信 業	11	0.3	2	0.0	1	0.3		—
26	運 輸 業 ， 郵 便 業	9	0.3		—	2	0.6		—
27	卸 売 業 ， 小 売 業	38	1.1	65	1.5		—	2	4.3
28	教育，学術研究，専門・技術サービス業	293	8.6	334	7.8	98	30.4	4	8.5
29	医 療 ， 福 祉	11	0.3	11	0.3	3	0.9	1	2.1
30	そ の 他	163	4.8	148	3.5	24	7.5	6	12.8
	合 計	3,406	100.0	4,282	100.0	322	100.0	47	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域	所内指導				現地指導				
		平成 30 年度		令和元年度		平成 30 年度		令和元年度		
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	
1	広島市	911	26.7	851	19.9	122	37.9	11	23.4	
2	呉市	636	18.7	1,508	35.2	36	11.2	5	10.6	
3	竹原市	31	0.9	25	0.6	8	2.5	1	2.1	
4	三原市	61	1.8	33	0.8	1	0.3	1	2.1	
5	尾道市	32	0.9	57	1.3	1	0.3		—	
6	福山市	82	2.4	100	2.3	14	4.3		—	
7	府中市	33	1.0	38	0.9	1	0.3	5	10.6	
8	三次市	7	0.2	11	0.3	3	0.9		—	
9	庄原市	36	1.1	41	1.0		—		—	
10	大竹市	22	0.6	34	0.8	7	2.2	2	4.3	
11	東広島市	659	19.3	733	17.1	39	12.1	2	4.3	
12	廿日市市	54	1.6	81	1.9	12	3.7		—	
13	安芸高田市	56	1.6	120	2.8	2	0.6		—	
14	江田島市	6	0.2	22	0.5	10	3.1		—	
15	府中町	237	7.0	89	2.1	26	8.1	14	29.8	
16	海田町	104	3.1	114	2.7	2	0.6		—	
17	熊野町	20	0.6	15	0.4		—		—	
18	坂町	31	0.9	25	0.6		—		—	
19	安芸太田町		—	3	0.1		—		—	
20	北広島町	74	2.2	6	0.1	2	0.6		—	
21	大崎上島町		—	1	0.0		—		—	
22	世羅町		—		—		—		—	
23	神石高原町		—		—		—		—	
24	県外	山口県	38	1.1	29	0.7	3	0.9		—
25		岡山県	22	0.6	29	0.7	1	0.3	2	4.3
26		島根県	14	0.4	14	0.3	1	0.3		—
27		鳥取県	2	0.1	7	0.2	1	0.3		—
28		その他都道府県	238	7.0	296	6.9	30	9.3	4	8.5
合 計		3,406	100.0	4,282	100.0	322	100.0	47	100.0	

(2) 依頼試験

① 試験項目別件数

分類	試験項目	コード	平成30年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 試験及び測定	1 材料試験	B	242	12.5	213	19.7
	2 機械器具等の試験	C	25	1.3	30	2.8
	3 ひずみ測定	D		—		—
	4 騒音及び振動測定	E		—		—
	5 化学試験	F	11	0.6		—
	6 腐食耐候性試験	G	78	4.0	4	0.4
	7 めっき,塗膜等の被膜試験	H		—	17	1.6
	8 高分子材料試験	I	1,182	60.9	478	44.2
	9 測定	J	66	3.4	40	3.7
二 検査及び分析	1 一般定性分析	K		—		—
	2 一般定量分析	L	132	6.8	139	12.8
	3 特殊定性分析及び特殊定量分析	M	89	4.6	67	6.2
	4 工業用水及び工場排水検査	N	2	0.1	5	0.5
三 写真	O P Q R	10	0.5	15	1.4	
四 試作	S		—		—	
共通	一 成績書及び証明	TU	3	0.2	5	0.5
	二 他の項に定めのない試験等	V		—		—
	三 前処理及び試料調整	W	102	5.3	69	6.4
合計			1,942	100.0	1,082	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域		平成 30 年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広 島 市		450	23.2	73	6.7
2	呉 市		808	41.6	587	54.3
3	竹 原 市			—	1	0.1
4	三 原 市		10	0.5	8	0.7
5	尾 道 市		2	0.1	6	0.6
6	福 山 市		12	0.6	24	2.2
7	府 中 市			—		—
8	三 次 市			—		—
9	庄 原 市			—		—
10	大 竹 市			—		—
11	東 広 島 市		196	10.1	232	21.4
12	廿 日 市 市			—		—
13	安 芸 高 田 市		211	10.9	125	11.6
14	江 田 島 市			—	6	0.6
15	府 中 町			—		—
16	海 田 町		25	1.3	1	0.1
17	熊 野 町			—		—
18	坂 町		119	6.1		—
19	安 芸 太 田 町			—		—
20	北 広 島 町			—		—
21	大 崎 上 島 町			—		—
22	世 羅 町			—		—
23	神 石 高 原 町			—		—
24	県 外	山 口 県	22	1.1	4	0.4
25		岡 山 県		—		—
26		島 根 県	5	0.3		—
27		鳥 取 県		—		—
28		そ の 他 都 道 府 県	82	4.2	15	1.4
合 計			1,942	100.0	1,082	100.0

(3) 設備利用

① 設備別件数

分類	コード	設 備 名	平成 30 年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 測定機器・試験機器及び分析機器	A001	万能試験機(一)10トン	148	2.6	138	2.9
	A002	万能試験機(二)25トン	152	2.7	55	1.2
	A003	万能試験機(三)50トン	77	1.4	125	2.6
	A004	万能試験機(四)100トン	25	0.4		—
	A005	流れ試験機	14	0.2	16	0.3
	A007	サーボパルサー	192	3.4	155	3.3
	A008	ICP 発光分光分析装置	97	1.7	110	2.3
	A010	恒温恒湿室	218	3.9	140	2.9
	A011	実体顕微鏡	5	0.1		—
	A012	透過型微分干渉顕微鏡		—		—
	A019	ひずみ計		—	15	0.3
	A021	走査型電子顕微鏡(日本電子 JSM-6510A)	425	7.5	428	9.0
	A022	蒸着装置	5	0.1	10	0.2
	A023	恒温恒湿器(300L)	25	0.4	87	1.8
	A024	振動試験機	211	3.7	131	2.8
	A025	防振台		—		—
	A026	自動ヒートディストーションテスタ		—	25	0.5
	A027	複合材料カッティングマシン	9	0.2		—
	A028	粒度分布測定装置	19	0.3	13	0.3
	A029	硬さ計	56	1.0	43	0.9
	A030	粉碎機	17	0.3		—
	A031	回流水槽	3	0.1	3	0.1
	A032	二軸押出成形機	71	1.3	109	2.3
	A033	射出成形機	25	0.4	25	0.5
	A034	熱伝導率計	63	1.1	54	1.1
	A036	示差熱分析装置	46	0.8	113	2.4
	A037	熱膨張測定装置	62	1.1		—
	A039	AE 付密着性試験機	4	0.1		—
	A040	イオンクロマトグラフ分析装置	63	1.1	74	1.6
	A042	光学顕微鏡	159	2.8	69	1.5
	A043	試料切断機	74	1.3	22	0.5
	A044	試料研磨機	134	2.4	120	2.5
A045	非接触三次元測定装置	84	1.5	24	0.5	
A046	点群データ処理ソフト		—	61	1.3	
A047	汎用シミュレーション装置	1	0.0		—	
A048	三次元ソリッドモデラー(ハイエンド)		—		—	
A049	プレスシミュレーション装置	36	0.6	14	0.3	
A052	ラピッドプロトタイピング装置(一)熱溶解積層		—		—	
A054	動作解析装置		—		—	

分類	コード	設 備 名	平成 30 年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
測定機器・試験機器及び分析機器	A055	プラズマエッチング装置	4	0.1	3	0.1
	A056	マスクアライメントシステム		—		—
	A057	エリプソメータ	5	0.1		—
	A058	音響計測装置	29	0.5	28	0.6
	A059	X線分析顕微鏡	3	0.1		—
	A060	万能塑性加工機		—		—
	A061	X線 CT 検査装置	149	2.6	54	1.1
	A062	赤外線熱画像処理装置	17	0.3	27	0.6
	A063	X線応力測定装置	39	0.7	11	0.2
	A064	計測データ記録装置	3	0.1		—
	A065	三次元測定機	42	0.7	24	0.5
	A066	自動万能薄板試験機	1	0.0	1	0.0
	A067	高周波加熱装置		—		—
	A068	デジタルマイクロスコープ	62	1.1	58	1.2
	A069	表面粗さ測定機	15	0.3	4	0.1
	A070	走査型電子顕微鏡(平成 13 年製)	100	1.8	32	0.7
	A071	引張試験機	25	0.4	25	0.5
	A073	やすり切削性能試験機	5	0.1	3	0.1
	A074	摩擦磨耗試験機	198	3.5	39	0.8
	A075	床衝撃音レベル測定装置		—		—
	A076	高速液体クロマトグラフ質量分析装置		—		—
	A077	表面抵抗計	1	0.0	1	0.0
	A078	放電焼結装置		—		—
	A080	非接触振動計(レーザドップラ振動計)		—		—
	A081	赤外分光分析装置	187	3.3	167	3.5
	A082	アイゾット衝撃試験装置	2	0.0		—
	A083	蛍光 X 線装置	65	1.2	304	6.4
	A084	カッティングプロッタ		—		—
	A085	ネットワーク/インピーダンスアナライザ	2	0.0		—
	A086	耐圧試験機		—		—
	A087	絶縁抵抗計		—	2	0.0
	A088	測圧機	4	0.1	2	0.0
	A090	投影機	6	0.1		—
A091	プロトコルアナライザ		—		—	
A092	デジタルオシロ		—		—	
A093	筋電計		—		—	
A094	ミドルレンジ CAD	56	1.0	69	1.5	
A095	ガスクロマトグラフ質量分析装置	44	0.8	44	0.9	
A096	電気炉	38	0.7	3	0.1	
A097	高周波溶解炉		—		—	

分類	コード	設 備 名	平成 30 年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 測定機器・試験機器及び分析機器	A098	ホットプレス		—	21	0.4
	A128	シャルピー式衝撃試験装置	2	0.0	1	0.0
	A129	キャス試験機	4	0.1	5	0.1
	A130	めっき膜厚計(電磁式)	2	0.0		—
	A132	めっき膜厚計(電解式)	49	0.9	125	2.6
	A133	イメージ分光システム		—		—
	A134	高速高精細カメラシステム	4	0.1	4	0.1
	A135	サーベイメータ		—		—
	A136	切削 FEM シミュレーション装置		—		—
	A137	複合サイクル試験機	71	1.3	18	0.4
	A138	小型射出成型機	4	0.1		—
	A139	小型押出機	4	0.1		—
	A140	落錘衝撃試験機		—		—
	A141	大型高速衝撃圧縮試験機	393	7.0	246	5.2
	A142	ハイスピードカメラ	363	6.4	209	4.4
	A143	超音波顕微鏡	18	0.3		—
	A144	光学式動作解析装置		—	14	0.3
	A145	アーム型三次元形状測定装置	21	0.4	3	0.1
	A146	生体信号計測装置	5	0.1	12	0.3
	A147	恒温恒湿器(460L)	374	6.6	147	3.1
	A148	レーザー超音波可視化装置	33	0.6	4	0.1
	A149	デザイン用三次元 CAD		—		—
	A150	デザイン用ソフトウェア		—		—
	A151	微小圧縮試験機	4	0.1	22	0.5
	A152	屈折率計	8	0.1	8	0.2
	A153	粒度分布測定装置(光散乱式)	7	0.1	6	0.1
	A154	分光光度計	4	0.1	58	1.2
	A155	粘度計		—	4	0.1
	A156	X線回折装置	7	0.1	133	2.8
	A157	比表面積測定装置		—	66	1.4
	A158	レーザードップラー振動計		—		—
	A159	音響インテンシティ計測システム		—	60	1.3
A160	振動音響解析ソフト		—		—	
A161	高周波計測システム		—		—	
A162	TOC 計		—	1	0.0	
二 加工機器	A099	普通旋盤	2	0.0	1	0.0
	A100	フライス盤	2	0.0		—
	A101	ボール盤		—		—
	A102	高速帯のこ盤	1	0.0	2	0.0
	A104	折曲機		—		—
	A106	交流アーク溶接機		—		—

分類	コード	設 備 名	平成 30 年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
二 加 工 機 器	A109	マシニングセンター		—		—
	A110	スクイズキャストマシン		—		—
	A112	スパッタリング装置	4	0.1		—
	A114	CVD 装置	24	0.4	16	0.3
	A117	プレス(加熱型)	212	3.8	104	2.2
	A118	高速マシニングセンター		—		—
	A119	複合 NC 旋盤		—		—
	A120	NC フライス盤		—		—
	A122	溶接ロボット		—		—
	A124	卓上加工機	14	0.2	9	0.2
	A227	CFRP オートクレーブ(大型)	195	3.5	174	3.7
	A228	CFRP オートクレーブ(小型)	91	1.6	49	1.0
	A229	5 軸マシニングセンター	2	0.0		—
	A230	シートロール		—		—
	A231	CFRP 用プレス		—	31	0.7
A232	CFRP 用金型加熱装置		—	28	0.6	
三 試 験 室	A125	無響室	21	0.4	19	0.4
	A126	シールドルーム	27	0.5	31	0.7
	A127	残響室	45	0.8	43	0.9
小 計			5,639	100.0	4,754	100.0

(ひろしま産学共同研究拠点)

分類	コード	設 備 名	平成 30 年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 分 析 機 械	A501	透過型電子顕微鏡	116	45.1	131	60.9
	A502	顕微鏡試料作成装置	32	12.5	22	10.2
	A503	ウルトラミクロトーム		—		—
	A504	透過型電子顕微鏡関連機器		—	21	9.8
	A505	光電子分光装置関連機器		—		—
二 定 機 測	A521	光電子分光装置	109	42.4	41	19.1
小 計			257	100.0	215	100.0

年 度	平成 30 年度	令和元年度
合 計 件 数(件)	5,896	4,969

② 地域別件数

地域 No.	地 域		平成 30 年度		令和元年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広島市		1,395	23.7	1,019	20.5
2	呉市		1,333	22.6	1,589	32.0
3	竹原市		42	0.7	33	0.7
4	三原市		112	1.9	41	0.8
5	尾道市		62	1.1	47	0.9
6	福山市		94	1.6	54	1.1
7	府中市		17	0.3	20	0.4
8	三次市		28	0.5	17	0.3
9	庄原市		45	0.8	52	1.0
10	大竹市		46	0.8	106	2.1
11	東広島市		916	15.5	586	11.8
12	廿日市市		71	1.2	93	1.9
13	安芸高田市		122	2.1	47	0.9
14	江田島市			—	8	0.2
15	府中町		457	7.8	413	8.3
16	海田町		135	2.3	85	1.7
17	熊野町		9	0.2	4	0.1
18	坂町		250	4.2	55	1.1
19	安芸太田町			—	2	0.0
20	北広島町		2	0.0	3	0.1
21	大崎上島町			—		—
22	世羅町			—		—
23	神石高原町			—		—
24	県 外	山口県	43	0.7	61	1.2
25		岡山県	8	0.1	48	1.0
26		島根県	8	0.1	9	0.2
27		鳥取県		—	10	0.2
28		その他都道府県	701	11.9	567	11.4
合 計			5,896	100.0	4,969	100.0

注) ひろしま産学共同研究拠点利用分を含む

③ 機器整備

(平成 22 年度以降設置備品【取得金額 300 万円以上】)

名称	メーカー・型式	使用目的	取得年度	設置場所	備考
非接触 3D 表面形状測定装置	ブルカーアリコナ社 インフィニートフォーカス	非接触で測定物形状を 多点かつ高精度に測定	R1	精密測定室※	JKA 補助金
自動ボンベ熱量計	小川サンプリング(株) O.S.K100-5	総発熱量の測定	R1	有機化学試験室	
赤外分光分析装置	日本分光(株) FT/IR-6600,IRT-7200	有機物の微小領域の分析	29	赤外分光分析室	JKA 補助金
万能試験機	(株)島津製作所 AG-10KNXplus	温度を変えた精密万能 試験	29	プラスチック材料開放試験室	
光ファイバー温度計	JFE プラントエンジニア(株) FIMTHERM-H	高速な温度測定	28	材料物性試験室	JKA 補助金
レーザ超音波可視化検査装置	つくばテクノロジー(株) LUVI-CP1	各種材料の欠陥検査	27	非破壊検査室	地域オープンイノベーション促進事業
恒温恒湿室	エスベック(株) TBE-3EW6P2T	耐熱性試験, 耐湿試験等	27	環境試験室	JKA 補助金
恒温恒湿器 (460L)	楠本化成(株) HIFLEX NEO FX-420N	耐熱性試験, 耐湿試験等	27	機械工作室	
パソコン用ソフト	ラティス・テクノロジー (株)Vmech 他	ロボット用CAD及びシミュレータ	27	NC 加工室※	
振動試験機	IMV(株) i230/SA2M	電子部品や自動車部品等の振動試験	26	振動実験室	JKA 補助金
モーションキャプチャー装置	Vicon Motion System Bonita10 カメラシステム	動作解析, 歩行解析等	26	実験デザイン室※	地域オープンイノベーション促進事業
生体信号計測装置	ディケイエイチ DL-5000 Tobii Technology トビーグラス2	筋電位と視線計測の操作性・身体負担検証	26	実験デザイン室※	地域オープンイノベーション促進事業
三次元形状計測装置	東京貿易テクノシステム(株) Vectoron VMC6646Mpls	接触及び非接触による3次元形状測定	26	モデル試作室※	地域オープンイノベーション促進事業
大型高速衝撃圧縮試験機	IMATEC IM10T-30 型	各種材料・製品の変形, 破壊特性の評価・解析	25	工作室	地域新産業創出基盤強化事業
ハイスピードカメラ	ナックイメージテクノロジー社 HX-5	部材や材料の変形・破壊挙動などの高速撮影	25	工作室	地域新産業創出基盤強化事業
垂直多関節ロボット装置	(株)安川電機 MOTOMAN-SIA20F 他	ランダムピッキングシステム開発	25	NC 加工室※	
ICP 発光分析装置	(株)島津製作所 ICP-7510	溶液中の含有元素の定量分析	24	発光吸光分析室	JKA 補助金
複合サイクル試験機	スガ試験機(株) CYP-120	金属・表面処理等の耐食性評価試験	24	耐食性試験室	
マシニングセンター	オークマ(株) MU・400VA	金型や機械部品の高速切削加工	23	フレキシブル生産加工室※	
加熱器	第一高周波工業(株) 金型電磁誘導加熱装置	金型や材料の電磁誘導加熱	23	炭素繊維複合材料試験室	

名 称	メーカー・型式	使用目的	取得 年度	設置場所	備考
パソコン用ソフト	THIRD WAVE SYSTEMS 切削FEMシミュレーションソフト	切削加工状態のシミュレーション	23	コンピュータ室※	
パソコン用ソフト	IT アシストコム(株) 誘導加熱シミュレーション装置	電磁誘導加熱のシミュレーション	23	研究員室	
樹脂加工機	(株)積層金型 炭素繊維複合材張力付与金型	炭素繊維複合材料の成形	23	炭素繊維複合材料試験室	
走査型電子顕微鏡	日本電子(株) JSM-6510A	各種試料の微小領域の観察	22	電子顕微鏡室	JKA 補助金
複合材料部材搬送装置	(株)安川電機 MOTOMAN HP20D 他	熱可塑性樹脂炭素繊維複合材料のワーク搬送	22	先端複合材料試験室	
炭素繊維複合材料解析装置	エムエスシーソフトウェア(株) Marc Complete Package	炭素繊維複合材料の構造解析等	22	研究員室	

※ 生産技術アカデミー

(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）

(業種別件数)

業種 No.	業 種	平成 30 年度		令和元年度	
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
2	織 維 工 業	1	1.5		—
3	木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	1	1.5		—
7	化 学 工 業	4	6.0	2	3.0
9	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	5	7.5	3	4.5
10	ゴ ム 製 品 製 造 業	2	3.0	3	4.5
11	窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		—	5	7.6
13	非 鉄 金 属 製 造 業		—	1	1.5
14	金 属 製 品 製 造 業	8	11.9	11	16.7
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	25	37.3	11	16.7
17	電 気 機 械 器 具 製 造 業	4	6.0	3	4.5
18	情 報 通 信 機 械 器 具 製 造 業	1	1.5	1	1.5
19	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	9	13.4	15	22.7
20	そ の 他 の 製 造 業	1	1.5	3	4.5
28	教 育 , 学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	5	7.5	8	12.1
29	医 療 , 福 祉	1	1.5		—
合 計		67	100.0	66	100.0

5 技術移転事業

(1) 保有技術紹介セミナー

- ・ 開催日：令和元年10月24日(木)
- ・ 場所：本所
- ・ 参加者：47名
- ・ 開催内容：測定・評価・シミュレーション技術など『見える化技術』を中心にセンターの保有技術を紹介し、口頭説明後、実演・展示を行いました。

【口頭説明】

(13:30~14:10)

	セクション1 【2階 小研修室】	セクション2 【4階 大研修室】
1	熱電対では測定困難な瞬間の温度変化を取得する光ファイバー型放射温度計を用いた温度測定技術	金型なしで金属薄板をフレキシブルに曲げ加工する成形機
2	実部品構造体の断熱性能を把握する熱測定技術	高齢者の歩行の健全性を簡便に評価するシステム
3	射出成形中の繊維含有熔融樹脂粘度を測定する樹脂粘度パラメータ取得技術	エンドミル加工のびびり振動を予測するNCシミュレータ
4	CFRP部材のエネルギー吸収量をFEMシミュレーションで評価する技術	自動検査の事前検討などを目的とした撮影用設備
5	樹脂材料の組成・構造の分布やその変化を明らかにする顕微赤外分析技術	東部工業技術センターに導入する摩擦攪拌接合装置及び関連セミナーの紹介

【実演・展示】

(14:15~16:45)

	セクション1 【実験棟 ほか】	セクション2 【4階 大研修室 ほか】
1	金属表面の非接触測温実演、単色及び二色方式の性能比較	金型なしフレキシブル曲げ加工状況の動画再生及び加工品の展示
2	自動車バックドア断熱性能測定実演	センシングシューズによる歩行測定及び健全性評価の実演
3	樹脂粘度測定実演	NCシミュレーションデモ及び切削加工品の展示
4	落錘試験機によるヘルメットの破壊実験	自動検査事前検討用照明・カメラ等の機器展示
5	顕微赤外分析によるラミネートフィルム等微小材料の分析事例紹介センター紹介	—

(2) 研究成果の公表

① 投稿

No.	テーマ名	氏名	学協会・誌名等
1	Bioinspired One-Step Synthesis of Pomegranate – like Silica@Gold Nanoparticles with Surface-Enhanced Raman Scattering Activity	Shujun Zhou, Makoto Maeda, Eishi Tanabe, Masaru Kubo and Manabu Shimada	Langmuir 2020, 36, 10, 2553-2562
2	Tubular Flame Combustion for Nanoparticle Production	Tomoyuki Hirano, Jun Kikkawa, Febrigia Ghana Rinaldi, Kenshi Kitawaki, Daisuke Shimokuri, Eishi Tanabe and Takashi Ogi	Ind. Eng. Chem. Res. 2019, 58, 17, 7193-7199
3	Improved photochromic stability in less deficient cesium tungsten bronze nanoparticles	Shuhei Nakakura, Keisuke Machida, Eishi Tanabe, Kenji Adachi, Takashi Ogi	Advanced Powder Technology, Volume 31, Issue 2, February 2020, Pages 702-707

② 口頭発表等

No.	テーマ名	氏名 (○:発表者)	場所 (学協会等)	発表日
1	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センターによる支援と研究	○安部重毅	メルパルク岡山 (塑性加工学会中国四国支部塑性加工研究会)	H31. 4.12
2	高じん性エポキシ接着剤を用いた CFRP 接着継手の混合モード破壊じん性	○河野洋輔	広島大学 (日本複合材料学会西部支部支部講演会)	H31.4.24
3	低コストな距離画像センサを活用したランダムピッキングシステム	○宮野忠文 安部重毅, 藤原義也 岡野 仁, 大賀 誠	広島国際会議場 (日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門)	R1. 6. 7
4	Au-Silica 複合ナノ粒子の3次元元素マップ	○田邊栄司 西嶋雅彦, 周淑君	愛媛大学 (日本金属学会第59回・日本鉄鋼協会第62回中国四国支部講演大会)	R1. 8.19
5	Au-Silica 複合ナノ粒子の3次元元素マップ	○田邊栄司 西嶋雅彦, 周淑君	岡山大学 (日本金属学会2019年秋期(第165回)講演大会)	R1. 9.13
6	専門家の目視診断を推定する歩行センシング	○横山詔常	秋田カレッジプラザ (第21回医療福祉技術シンポジウム)	R1.10. 1

No.	テーマ名	氏名 (○:発表者)	場所 (学協会等)	発表日
7	材料廃棄を低減する CFRP テープ積層技術	○河野洋輔	JST 東京本部 (新技術説明会)	R1.10.10
8	光化学改質樹脂表面の分子構造分布解析への顕微赤外 ATR 法の適用	○小島洋治 野尻秀智, 大越昌幸	つくば国際会議場 (日本分析化学会 高分子分析研究懇談会)	R1.10.24
9	CAE 技術を活用したプレス成形手法の確立と実用化	○安部重毅	広島ガーデンパレス (中国地域公設試験研究機関功績者表彰式)	R1.11.27
10	公設試験研究機関の仕事, 研究開発, 技術支援	○横山詔常 橋本晃司, 中村幸司	広島県立総合体育館 (日本人間工学会中国四国支部大会)	R1.12. 8
11	アルミダイカスト金型冷却孔の割れ現象の調査	○石本洋介 長岡 孝, 大石 郁 府山伸行, 田畑潤二	広島市工業技術センター (日本鑄造工学会中国四国支部)	R1.12.12

③ 講演等

No.	講演内容		講演者	主催者	発表日
1	中国地域質感色感研究会 第2回研究発表会	人間工学の研究事例の紹介 ～質感評価と歩行診断の推定～	横山 詔常	中国地域創造研究センター	R1. 8. 7
2	JASIS コンファレンス 微細構造解析・分析連携セミナー	Pt, Pd担持Al ₂ O ₃ 触媒の STEM-EDSトモグラフィ	田邊 栄司	一般社団法人日本分析機器工業会	R1. 9. 5
3	精密工学会中国四国支部 講習会「切削加工における加工精度」	エンドミルのたわみに起因する 加工誤差とびびり振動	西川 隆敏	精密工学会中国四国支部	R1.11.20
4	型加工技術に関する調査研究委員会 第5回委員会	金型の高能率高精度加工を支援する エンドミル NC シミュレータの開発	西川 隆敏	型技術協会	R1.12.16

(3) 工業所有権

① 権利が確定した工業所有権（令和2年3月末現在）

整理番号	登録番号	発明の名称	出願人	発明者	登録年月日
43	特許 5110417	方向制御性を伴ったガイド波パルス圧縮配管検査法および装置	広島県 (株)シーエック スアール	問山清和, 佐野 誠 池田 隆, 金原了二	H24.10.19
52	特許 4941910	鉋型手動利器及びそのグリッ プアタッチメント	広島県 (有)ウド・エルゴ 研究所	横山詔常, 岡野 仁 中村幸司, 橋本晃司 古川 昇, 越智資泰 今井俊治, 宇土 博 宇土明子, 宇土昌宏 ベン ケイ ブランランド	H24. 3. 9
66	特許 5339584	電子透過膜およびその製造方法	広島県 常翔学園	縄稚典生, 山本 晃 本多正英, 筒本隆博 菅 博, 上月具挙	H25. 8.16
68	特許 5309288	加工誤差予測のためのコンピュー タープログラム、加工誤差予測 装置およびその予測結果に基づ いて工具経路を修正する装置	広島県 埼玉大学	西川隆敏, 菊田敬一 岡野 仁, 山下弘之 金子順一	H25. 7.12
69	特許 5610265 (US9121090B2)	樹脂成形体	広島県 ダイキョーニシ カワ(株)	小島洋治, 縄稚典生 山本 晃, 阿波根紘志	H26. 9.12 (H27. 9. 1)
73	特許 5678432	樹脂粘度測定方法及び樹脂粘 度測定装置	広島県	佐々木憲吾, 田平公孝 大橋俊彦	H27. 1.16
76	特許 5414113	鉄筋を含む被切削物を切削す る際の鉄筋感知方法及び鉄筋 感知装置並びに切削装置	広島県 (株)シブヤ	問山清和, 宮野忠文 笹口法之	H25.11.22
79	特許 6103737	円盤刃物送り制御方法および 装置	広島県 大河内金属(株) (株)三立電機	菊田敬一, 村河亮利 大河内弘一, 瀬尾好己 島川 修	H30. 3.10
80	特許 5660563	繊維強化熱可塑性樹脂プリ プレグの積層方法	広島県 東海工業ミシン(株)	下原伊智朗, 松葉 朗 池田慎哉, 河野洋輔 西田裕紀, 近藤徹朗	H26.12.12
83	特許 5804367	加工誤差予測方法、加工誤差予 測装置、工具経路修正方法及び 工具経路修正装置	広島県	西川隆敏, 菊田敬一 筒本隆博	H27. 9.11
86	特許 5858382	鋳型、鋳鋼の製造方法及び鋳型 の製造方法	広島県 コトギ技研工業(株) 近畿大学 日本銀砂(株)	藤井敏男, 河村 博 旗手 稔, 長原雄一 中河原圭司	H27.12.25
87	特許 5967644	プレス成形装置及びプレス成 形品の成形方法	広島県	大川正巳, 藤井敏男 西田裕紀, 山下弘之 松葉 朗, 松永尚徳 河野洋輔	H28. 7.15
88	特許 5907422	繊維強化樹脂材料部材の締結 構造	広島県	松永尚徳, 西田裕紀	H28. 4. 1
89	特許 5967834	樹脂成形用金型、該樹脂成形用 金型の製造方法及び樹脂成形 品の製造方法	広島県 (株)積層金型	松葉 朗, 藤井敏男 池田慎哉, 西田裕紀 山崎拓哉, 山崎久男	H28. 7.15

整理番号	登録番号	発明の名称	出願人	発明者	登録年月日
93	特許 6149272	ダイヤモンド被膜体、ダイヤモンド被膜部品及びそれらの製造方法	広島県	本多正英, 筒本隆博 大橋俊彦, 山本 晃	H29. 6. 2
100	特許 6176617	回転工具のたわみによる加工誤差の予測方法および予測装置	広島県	西川隆敏, 菊田敬一 筒本隆博	H29. 7.21
101	特許 6164434	エンドエフェクタ	広島県	安部重毅, 藤原義也 岡野 仁, 大賀 誠 是永晋治	H29. 6.30
102	特許 6300211 (6317052)	採材支援装置および制御プログラム	広島県	佐野 誠, 古本浩章 小玉 龍, 佐野俊和 山場淳史	H30. 3. 9 (H30. 4. 6)
104	特許 6284129	コンプライアンスデバイス	広島県	安部重毅, 藤原義也 岡野 仁, 倉本丈久 大賀 誠	H30. 2. 9
106	特許 6644298	歩行データ取得装置および歩行データ取得システム	広島県 県立広島大学	横山詔常, 弓場憲生 小玉 龍, 門藤至宏 長谷川正哉	R 2. 1.10
110	特許 6316997	びびり振動回避装置、びびり振動回避プログラム、およびびびり振動回避装置の制御方法	広島県	西川隆敏, 菊田敬一	H30. 4. 6
111	特許 6664746	歩行評価システムおよび歩行評価システムの作動方法	広島県 県立広島大学	横山詔常, 橋本晃司 小玉 龍, 弓場憲生 長谷川正哉	R 2. 2.21
112	特許 6452874	金属加工装置、ロボット、及び金属加工方法	広島県	安部重毅, 岡野 仁 岩谷 稔	H30.12.21

② 出願している工業所有権*

整理番号	出願番号	発明の名称	出願人	発明者	出願年月日
107	特願 2016-072517	細胞培養装置	広島県 (株) ツーセル (株) スペース・バイ オ・ラボラトリーズ	尾形康弘, 北山 唯 長谷川森一, 森下 強 河原裕美	H28. 3.31
108	特願 2016-150202	二枚貝養殖用トレイ及びそれを積層した水産物養殖用トレイ積層体	広島県 かなわ水産(株) 大下産業(株)	佐々木憲吾, 友國慶子 三保達郎, 三保弘太郎 濱砂勇希	H28. 7.29
109	特願 2017-035287	アルミ合金製ボルト	広島県 松本重工業(株)	森下勇樹, 府山伸行 横田浩一, 下川慎也 勝山仁義	H29. 2.27

※ その他, 未公開案件: 国内特許 10 件 (内, 令和元年度出願 7 件)

③ 権利を放棄した工業所有権（平成 20 年度以降放棄分）

整理番号	登録番号	発明の名称	出願人	発明者	登録年月日
6	特許 2114974	表層汚泥の浚渫処理方法	広島県 常石造船(株)	藤本宗之, 畑 徳宣 平田敏明, 倉本恵治 常石造船(株)	H 8.12. 6
8	特許 2992669	特定の不純物を含有するアルミナ分散アルミニウム-チタン金属間化合物複合材料の製造方法及び不純物含有二酸化チタン	広島県	土取 功, 縄稚典生	H11.10.22
16	特許 3000366	超音波鋳ぐるみ接合方法及び超音波鋳ぐるみ接合体	広島県	藤井敏男, 府山伸行	H11.11.12
19	特許 3504559	無機化合物ガスクッション型粉体離型潤滑剤	広島県 岡山県 (株)MORESCO	藤井敏男, 府山伸行 吉松英之, 上野 覚 五本上啓司	H15.12.19
31	特許 3861178	熱フィラメント CVD 法	広島県	筒本隆博, 山本 晃	H18.10. 6
32	特許 3747258	FRPリサイクルートを配合した熱可塑性樹脂複合材料の製造方法	広島県	大橋俊彦, 下原伊智朗 田平公孝	H17.12. 9
36	特許 3932315	歪センサ素子及び多結晶性ダイヤモンド歪ゲージの形成方法	広島県	筒本隆博, 山本 晃	H19. 3.30
50	特許 4997636	構造物の非破壊診断方法	広島県	問山清和	H24. 5.25
51	特許 4797194	超音波断層画像による生体組織評価システム	広島県 (独)産業技術総合研究所	大賀 誠, 福田 修 佐藤広徳, 椿井正義 上野直広	H23. 8.12
53	特許 4736737	葉菜類の水耕栽培用作業台	広島県	橋本晃司, 中村幸司 岡野 仁, 横山詔常 古川 昇, 越智資泰 田中昭夫, 今井俊治	H23. 5.13
54 55 56	意匠 1298412 他2件	視覚障害者用識別ガイド付き靴下	広島県 (株)コーポレーションパールスター 坊岡正之	中村幸司	H19. 3.16
60	特許 3879013	歩行支援用仮設家具及び歩行支援用仮設ユニット家具	広島県	橋本晃司, 平田 勉 横山詔常, 岡野 仁	H18.11.17

(4) 広報活動

① 技術情報提供等の実施状況

区 分		実施状況 (発行部数等)
発 行 図 書 類	事 業 概 要	HP に 掲 載
	研 究 報 告 (第 62 号) (部) < 発 送 分 (部) >	5 0 0 < 1 4 0 >
	業 務 年 報	HP に 掲 載
施 設 設 備 の 公 開	見 学 者 数 (名)	1 5 7

② 展示会等

No.	展示会等の名称	展示内容	場 所	開催日
1	ひろしま AI・IoT 進化型 ロボット展示会	画像検査検討用照明機器 非接触 3D 表面形状測定装置	広島県立 産業会館	R2. 2. 5~6

③ 新聞報道等の状況

No.	報 道 等 見 出 し	報道機関名	発行日
1	広島でロボ研究会（広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会	日刊工業新聞	R1. 5. 15
2	県 AI・IoT・ロボティクス活用研事例紹介など第 1 回研究会	広島経済レポート	R1. 6. 6号
3	保有技術 10 件研究者が紹介	日刊工業新聞	R1.10.10
4	シーズ移転へ攻めの姿勢・企業の持続的成長をけん引	日刊工業新聞	R1.10.11
5	「保有技術紹介セミナー」を開く	広島経済レポート	R1.10.17
6	金型不要の曲線加工技術・スライダーなど制御	日刊工業新聞	R1.11.26
7	3D 形状計測器導入・金型製作を支援	日刊工業新聞	R1.12.11
8	地域のモノづくり積極支援	日刊工業新聞	R2.1.21
9	大腸手術用のクリップ鉗子開発（ハマダ）	広島経済レポート	R2. 2.20

6 人材育成事業

(1) 技術者研修

① めっき技術者研修（令和元年度第3回広島表面処理技術研究会）

- ・ 参加者：20名（7社）
- ・ 期間：令和元年6月29日
- ・ 場所：本所
- ・ 概要：湿式表面処理に関わる基礎技術の習得を目的として研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座 学	オリエンテーション等 試薬など実習での危険防止について 化学分析およびハルセルについて	1	中国表面処理工業組合
実 習	Ni-Cr めっき（治具制作含む）	2	
実 習	Zn めっき	2	
実 習	ハルセルテスト，メッキ液分析 酸アルカリ分析	2	当センター職員

② 3D形状計測研修

- ・ 参加者：13名（9社）
- ・ 期間：令和2年1月17日
- ・ 場所：生産技術アカデミー
- ・ 概要：新規導入した，小型部品を対象に360°全周の形状を μm レベルで測定し，面粗さ評価も可能な非接触3D表面形状測定装置とリバースエンジニアリングソフトについて，特徴や活用事例等の研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座 学	非接触3D表面形状測定装置の紹介	1	(株)ユーロテクノ営業チーム 藤田 篤 氏
座 学	リバースエンジニアリングソフトの紹介	1	東京貿易テクノシステム(株) 生産CS部ソフトウェアグループ 玉木 香代子 氏
実習・ 見学	実習及び西部・東部工業技術センター精密測定 機器の紹介	0.7	当センター職員

③ VR/AR 研修

- ・ 参加者：11名（9社）
- ・ 期間：令和2年1月24日
- ・ 場所：ひろしま産学共同研究拠点
- ・ 概要：県内企業の流体解析に関する技術力向上を目的として研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座 学	VR-Design Studio UC-win/Road 各種産業分野における VR/AR の活用事例	0.5	(株)フォーラムエイト 執行役員・システム営業マネージャ 松田 克巳 氏
座 学	製造業における Virtual Reality 技術とは	0.5	デジタルプロセス(株) 3DT ビジネス部 濱 真一 氏
座 学	製造業に広がる AR/VR 活用 — 3D CAD データを VR で表示	0.5	サイバネットシステム(株) 先端可視化ソリューション部 荒井 葉月 氏
体験会 ・ 見学会	最新の VR/AR 技術の体験会ならびに見学会	1.5	講演企業各社

(2) 企業等研究員受入制度

当該年度の受入れは、ありませんでした。

7 産学官交流事業

(1) 研究会活動

○ 広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会

回次	内 容	場 所	開催日	参加者
第1回研究会※1	<p>【講演】</p> <p>第1部『地域産業を支援するメカトロニクス』</p> <p>第2部『ロボティクス・メカトロニクス技術で支える元気な地元企業』</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携による「国際ロボット展 2017」共同出展を振り返って (株)ヒロテック 生産技術研究所 主幹 国枝 潤 氏 公的機関からの技術移転による自社開発ピッキングシステムの紹介 シグマ(株)開発企画部 部長 熊元 隆弘 氏 出来そうで出来なかった食品の自動箱詰 マツダエース(株)プラントテクノロジー事業部 副事業部長 古本 仁之 氏 AI/IoT 実証プラットフォーム事業「ひろしまサンドボックス」の取組について 広島県商工労働局イノベーション推進チーム 主事 岩男 淳一 氏 <p>※1 地域交流ワークショップ in 広島「地域の課題への挑戦」(主催：産業技術連携推進会議メカトロニクス分科会，日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2019，産業技術総合研究所)との共同開催</p>	広島国際会議場	R1. 6. 5	92名
中国地域産総研技術セミナー in 広島(共催)※2	<p>【講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> MZ プラットフォーム：中小製造業の IT 化支援から IoT 化応用へ 産業技術総合研究所 製造技術研究部門 研究グループ長 古川 慈之 氏 MZ プラットフォームを用いた社内 IT 経営について 聖徳ゼロテック(株) 代表取締役 古賀 忠輔 氏 産総研センシングシステム研究センターの取り組み 産業技術総合研究所センシングシステム研究センター 副研究センター長 藤巻 真 氏 <p>※2 中国地域産総研技術セミナー in 広島(主催：産業技術総合研究所中国センター，広島県立総合技術研究所，広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会)</p>	広島グランドインテリジェントホテル	R2. 1.30	90名

注) R2.3.3 に「ひろしま産学共同研究拠点」で開催を予定していた第2回研究会は，新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて中止

(2) 他機関との連携・支援

① 公設試等連絡会議 (産業技術連携推進会議)

会 議 名	場 所	出席者	開催日
ライフサイエンス部会 第 25 回デザイン分科会	三重県北勢地域地場産業 振興センター	橋本晃司	R1. 7. 9
ライフサイエンス部会 第 26 回デザイン分科会	東京都立産業技術研究所	橋本晃司	R1.11.14
ライフサイエンス部会医療福祉技術分科会 第 21 回医療福祉技術シンポジウム	秋田カレッジプラザ	横山 詔 常	R1.10. 1
ライフサイエンス部会医療福祉技術分科会 第 4 回人間生活工学研究会	秋田県産業技術センター	横山 詔 常	R1.10. 2
ナノテクノロジー・材料部会 素形材分科会総会	産業技術総合研究所中部 センター他	石本洋介	R1.11.14 ～ 15
ナノテクノロジー・材料部会 第 57 回高分子分科会	阿波観光ホテル	田平公孝	R1.11.14 ～ 15
製造プロセス部会表面技術分科会 第 26 回本会議	米子コンベンションセン ター	井鷲洋介	R1. 5.30 ～ 31
知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会	北九州国際会議場	前田圭治 久保田将矢	R1.12. 5
知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会	北九州国際会議場	長谷川浩治	R1.12. 5
技術マーケティング意見交換会	産業技術総合研究所つく ばセンター	安部重毅	R1. 7.11 ～ 12
中国地域部会 総 会	(書面開催)	—	R2.2.28
中国地域部会 令和元年度第 1 回中国地域連携推進企画 分科会	中国経済産業局	藤井敏男	R1.5.28
中国地域部会 令和元年度第 2 回中国地域連携推進企画 分科会	広島ガーデンパレス	打田澄雄	R1.12.11
中国地域部会 機械・金属技術分科会	鳥取県産業技術センター	佐野 誠	R2. 1.28
中国地域企画分科会 感性創造 3D ものづくり研究会	山口県産業技術センター	橋本晃司	R1.10.25
中国地域 若手研究者研究発表会	広島市産業振興センター 工業技術センター	小玉 龍 宮野忠文 藤井敏男	R1.11.28

注) R2.1.20 に「イイノホール」で開催が予定されていた第 60 回産業技術連携推進会議総会は中止

② その他の業務による派遣

派遣先機関		内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
広島県	ひろしま感性 イノベーション 推進協議会	総 会	広 島 市	1	3	H31.4.23
		企画運営委員会	広 島 市	3	3	H31.4.24 R1.10.15 R2. 3. 3
		感性に係る地域連携会議	広 島 市	4	6	R1. 7. 3 R1. 9.27 R1.11.13 R2. 3.13
		コアメンバー会議	広島市他	3	6	R1. 9.20 R1.10.18 R1.12.11
	商工労働局	ひろしま IoT 実践道場	広 島 市	6	6	R1. 5.31 R1. 7.29 R1. 9.24 R1. 9.25 R1.11.29 R2. 1.29
(株)広島テクノプラザ	広島県 EMC 研究会	東広島市	2	2	R1. 6.10 R2. 2.26	
	広島県音振動技術研究会	東広島市	4	4	R1. 6. 3 R1.10.18 R1.12.19 R2. 2.14	
	中国地域質感色感研究会	広島市他	3	6	H31.4.24 R1. 8. 7 R1.11.20	
広島市工業技術センター	ひろしまデザインネットワ ーク	広 島 市	1	1	H31.4.26	
東広島商工会議所	モータ・ジェネレータ研究会	東広島市	5	5	H31.4.16 R1. 5.21 R1.11.12 R1.12.17 R2. 1.21	
宮島町商工会	宮島特産品振興大会審査・表 彰及び講評会等	広 島 市 廿日市市	3	3	R1. 8. 9 R1.10.18 R1.11. 3	
ひろしまアディティブ マニファクチャリング 研 究 会	運営委員会	東広島市	2	6	H31.4.18 R2. 2. 5	
広島経済同友会 ひろしまデジタル イノベーションセンター	デジタルものづくり塾	安芸郡府 中 町 広 島 市 東広島市	8	10	H31.4.25 R1. 6. 5 R1. 6.24 R1. 7. 5 R1. 8.22 R1.10. 1 R2. 2.13 R2. 2.21	
広島県教育委員会	ものづくり人材育成プロジ ェクト専門委員会	広 島 市	4	4	H31.4.25 R1. 6.14 R1. 7.24 R1. 8. 6 R1.12.11	

8 その他

(1) 職員研修

研修課程	場所	研修者	期間
PAM-STAMP セミナー	RCC 文化センター	岩谷 稔	R1. 4.12
第 55 回真空技術基礎講習会	大阪産業技術研究所 和泉センター	長岡 孝	R1. 5.21 ～ 24
産業用ロボットの教示特別教育	(株)安川電機	杉原正洋	R1. 6.12 ～ 13
自動車工学基礎講座 2019	広島県情報プラザ	久保田将矢	R1.6.18,19 R1.7.30,31
デジタルものづくり塾プレス初級	ひろしまデジタル イノベーションセンター	岩谷 稔	R1. 6.24 ～R2.2.13
機械学習によるデータ分析の基礎と実践へのポイント	日本テクノセンター	横山 詔常	R1. 6.25
センサ回路の実践研修	高度ポリテクセンター	姫宮 一輝	R1. 7.11 ～ 12
射出成形セミナー	(株)日本製鋼所	佐川洋行	R1. 8.19 ～ 23
プレス順送金型設計の要点	高度ポリテクセンター	岩谷 稔	R1. 9.10 ～ 1 2
第 24 回日本バーチャルリアリティ学会大会	東京大学本郷キャンパス	佐々木憲吾	R1. 9.12 ～ 13
Geomagic DesignX 講習会	東部工業技術センター	佐々木憲吾	R1. 9.19
金属破面観察（フラクトグラフィ）の基礎と破損原因推定のポイント	たかつガーデン	石本洋介	R1. 9.20
Keras を用いた深層学習の基礎と実践	日本テクノセンター	村河 亮利	R1. 9.24
日本転倒予防学会第 6 回学術集会	朱鷺メッセ	横山 詔常	R1.10. 5
sPScan セミナー	RCC 文化センター	佐々木憲吾	R1.10.24
実験計画法セミナー	広島県情報プラザ	杉原正洋 久保田将矢	R1.10.24 ～ 25
オープンソースプラットフォームライセンスの要点	高度ポリテクセンター	小玉 龍	R1.11. 7 ～ 8
マシンビジョン画像処理のためキャンパスのライティング技術（応用編）	高度ポリテクセンター	後藤 孝文	R1.11.14 ～ 15
音響・振動基礎セミナー	広島県 JA ビル	久保田将矢	R1.11.15
中国政府による日本の若手科学技術関係者招へいプログラム	中華人民共和国 北京市, 青島市	横山 詔常	R1.11.25 ～ 30
設計者 CAE を活用した構造解析技術	高度ポリテクセンター	久保田将矢	R1.11.26 ～ 27
社会人リカレント講座「機械力学」	近畿大学	姫宮 一輝	R1.11.26

研修課程	場 所	研修者	期 間
産技連中国地域部会若手研究者研究発表会	広島市産業振興センター 工業技術センター	小 玉 龍	R1.11.27
日本金属学会中国四国支部第68回材質制御研究会	広島工業大学	田 邊 栄 司	R1.12.26
産業用ロボットの教示等特別教育	安川電機	村 河 亮 利	R2. 1.14 ～ 15
大気圧プラズマの基礎と産業応用	きゅりあん（品川区立 総合区民会館）	井 鷲 洋 介	R2. 1.29
テキストマイニング体験セミナー	NTTデータ数理システム	小 玉 龍	R2. 2.13
玉掛け技能講習・クレーン運転特別講習	日本クレーン協会西中 四国支部	久保田将矢	R2.2.14～16 R2.3.6, 8
表面粗さ測定の基礎	(株)ミットヨ本社	藤 本 直 也	R2. 2.21

(2) 受賞等

賞 名	受 賞 者	主催団体	受賞日
中国地域公設試験研究 機関功績者表彰 研究業績賞	安 部 重 毅	公益財団法人 中国地域創造研究センター	R1.11.27
第8回「ものづくり日本大 賞」中国経済産業局長賞	府 山 伸 行 藤 井 敏 男	経済産業省 中国経済産業局	R2.2.27

付 録

(1) 令和元年度の主な行事等

(日 付)	(主な行事等)	(場 所)
令和元年		
6月 5日	広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会 「第1回研究会」	広 島 市
6月29日	技術者研修「めっき技術者研修」	本 所
10月24日	保有技術紹介セミナー	本 所
令和2年		
1月17日	技術者研修「3D形状計測研修」	生産技術アカデミー
1月24日	技術者研修「VR/AR研修」	ひろしま産学 共同研究拠点
1月30日	広島県AI・IoT・ロボティクス活用研究会 「中国地域産総研技術セミナーin広島(共催)」	広 島 市

(2) 沿 革

	(年 月)	(主 な で き ご と)
昭和24年	4月 (1949)	呉市公園通 6 丁目に広島県立呉工業試験場の設立決定
	11月	広島県立呉工業試験場を設立し、機械科、金属科の 2 科を設置
昭和25年	9月 (1950)	庶務係を新設、金属科を金属第 1 科、金属第 2 科に改組
昭和26年	2月 (1951)	鑄造実験室・溶解場を新築（昭和 42 年 2 月撤去）
昭和29年	8月 (1954)	鑄造科、工業化学科を新設
昭和34年	8月 (1959)	化学試験室を新築
昭和38年	1月 (1963)	鑄造実験室を新築
昭和39年	4月 (1964)	福山市沖野上町に福山支場を新設
	11月	化学試験室にプラスチック開放試験室を増設
昭和40年	4月 (1965)	広島県立窯業試験場を広島県立呉工業試験場竹原支場に改称
	5月 (1965)	福山支場庁舎を山手町に新築移転
昭和42年	4月 (1967)	金属第 1 科を金属科に改称、金属第 2 科を廃止し、溶接科、金属化学科を新設
昭和43年	3月 (1968)	本場の本館鉄筋コンクリート造 3 階建及び鉄骨平屋実験棟を新築
	6月	竹原支場を廃止し、本場に窯業科を設置
昭和46年	4月 (1971)	機構改革により科制を廃止し、総務部、公害研究室、機械部、金属部、化学部、福山支場の 4 部、1 室、1 支場体制
昭和57年	4月 (1982)	公害研究室をエネルギー対策室に、機械部を機械電子部に改組
昭和59年	3月 (1984)	熱処理実験室内に炭素繊維応用加工技術開放試験室を新設
	4月	広島県立西部工業技術センターに改称し、企画管理部、エネルギー対策室、システム開発部、金属加工部、応用化学部及び福山支所の 4 部、1 室、1 支所体制
昭和60年	3月 (1985)	敷地内に(財)広島県産業技術振興機構のフロンティア技術センターを新設
	3月	炭素繊維応用加工技術開放試験室を増設
昭和62年	4月 (1987)	福山支所が広島県立東部工業技術センターに統合される
昭和63年	4月 (1988)	エネルギー対策室を資源開発部に改組
平成 3年	10月 (1991)	呉市阿賀南 2 丁目 10-1 で新庁舎の起工式を実施
平成 5年	3月 (1993)	新庁舎完成、移転完了
	4月	企画管理部、情報技術部、材料技術部、生産技術部、システム技術部、資源環境技術部の 6 部体制
平成11年	4月 (1999)	生産技術アカデミー設計部門を開所して、システム技術部を廃止し、生産技術部を応用加工技術部に、資源環境部を資源環境技術部に改組
平成13年	4月 (2001)	生産技術アカデミー新庁舎完成・開所
平成19年	4月 (2007)	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センターとなる 東部及び西部工業技術センターの情報技術部と東部工業技術センターの産業デザイン部を生産技術アカデミーに集約（4 研究部体制） 本 所：総務担当、技術支援部、材料技術研究部、加工技術研究部 生産技術アカデミー：総務担当、技術支援担当、製品設計研究部、生産システム研究部
平成21年	4月 (2009)	本所に炭素繊維プロジェクトチームを設置（～平成 29 年度）
平成22年	4月 (2010)	生産技術アカデミーに金型加工プロジェクトチームを設置（～平成 24 年度）
平成25年	4月 (2013)	生産技術アカデミーに産業用ロボットプロジェクトチームを設置（～平成 27 年度）

(3) 令和2年度の職員

(令和2年4月1日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	山 本 晃
	次 長	岡 本 理 男
	次 長	藤 井 敏 男
総務担当	主 幹	西 原 久 人
	主 査	正 尺 弘 樹
	主 任(エルダースタッフ)	掲 野 史 也
技術支援部	(兼)部 長	藤 井 敏 男
	担当部長(営業担当)	舟 木 敬 二
	主 任 研 究 員	花ヶ崎 裕 洋
	研究員(エルダースタッフ)	田 尾 博 幸
	研究員(エルダースタッフ)	下 原 伊 智 朗
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	副 部 長	松 永 尚 徳
	副 部 長	小 島 洋 治
	主 任 研 究 員	本 多 正 英
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	宗 綱 洋 人
	主 任 研 究 員	大 川 正 巳
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	杉 原 正 洋
	研 究 員	末 村 紘 志
	研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員	丸 本 翼
	研究員(エルダースタッフ)	大 橋 俊 彦
加工技術研究部	部 長	縄 稚 典 生
	副 部 長	府 山 伸 行
	主 任 研 究 員	長谷川 浩 治
	主 任 研 究 員	伊 藤 幸 一
	主 任 研 究 員	問 山 清 和
	主 任 研 究 員	森 下 勇 樹
	主 任 研 究 員	寺 山 朗
	研 究 員	井 鷲 洋 介
	研 究 員	長 岡 孝
	研 究 員	石 本 洋 介
	研 究 員	藤 本 直 也
	研究員(エルダースタッフ)	筒 本 隆 博

(生産技術アカデミー)

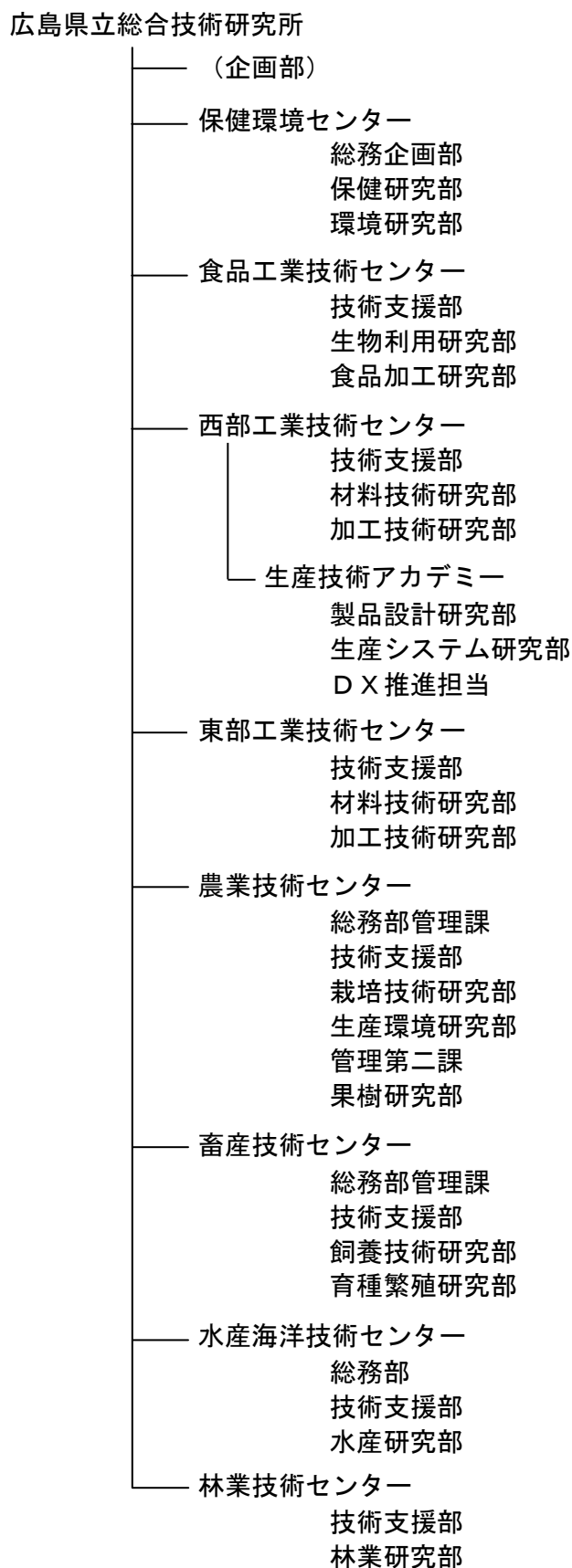
所属	職 名	氏 名
総務担当	支 所 長	佐 野 誠
	主 査	五 閑 彩
	主 任(エルダースタッフ)	西 村 聡
技術支援担当	担当部長(営業担当)	西 川 隆 敏
	主 任 研 究 員	友 國 慶 子
製品設計研究部	部 長	安 部 重 毅
	副 部 長	橋 本 晃 司
	主 任 研 究 員	佐々木 憲 吾
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司
	主 任 研 究 員	横 山 詔 常
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔
	研 究 員	後 藤 孝 文
	研 究 員	富 森 崇 文
生産システム研究部	部 長	宮 野 忠 文
	副 部 長	門 格 史
	主 任 研 究 員	前 田 圭 治
	主 任 研 究 員	大 石 郁
	主 任 研 究 員	岡 野 仁
	研 究 員	小 玉 龍
	研 究 員	藤 井 宏
	研 究 員	姫 宮 一 輝
	研 究 員	久保田 将 矢
	DX推進担当	担 当 部 長
主 任 研 究 員		倉 本 丈 久

(企業派遣)

-	主 任 研 究 員	西 田 裕 紀
---	-----------	---------

人員 61 名 (内, エルダースタッフ 6 名)

(4) 広島県立総合技術研究所の組織



令和 2 年 6 月

編集・発行

広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター

〒737-0004 呉市阿賀南2丁目10-1

E-mail wkcgiutsu@pref.hiroshima.lg.jp

TEL (0823) 74-1151

FAX (0823) 74-1131

広島県 西部工業

検索

